

新入学(園)児と高齢者の 交通事故防止運動

〈運動期間〉平成26年3月15日(土)~4月15日(火)



運動の重点

- 1 通学・通園路の安全確保の推進
- 2 新入学(園)児に対する交通安全教育・指導の徹底
- 3 子どもと高齢者を守る交通マナーの向上

平成26年度滋賀県交通安全スローガン

近江路を 笑顔でつなぐ 無事故の輪
自転車も 立派な車両 意識持て
待ってます 君の横断 終わるまで



滋賀県イメージキャラクター
「キャプティーン」

滋賀県・滋賀県交通対策協議会

滋賀県交通政策課交通安全対策室 ☎077(528)3682

滋賀県交通政策課

検索

●この印刷物は再生紙を利用しています

と検索して下さい。



滋賀県交通安全シンボルマーク

新入学(園)児の交通事故防止

★子どもの交通事故防止～Q&A～★

Q 最も多い子ども(小学生以下)の事故は?

A 自動車同乗中が最も多い

状態別で最も多いのは、自動車同乗中で304人。(滋賀県内、平成25年中) 子どもの事故の死傷者数の6割以上を占めています。



【対策】保護者の方へ 子ども(同乗者)には、必ずシートベルト、チャイルドシートの着用を!

Q 子ども(小学生以下)の歩行中の事故の特徴は?

A 自宅付近の発生が多い。「飛び出し」や「横断中」が多い

事故による子ども(小学生以下)の死傷者は、485人で、うち歩行中が67人。うち6割以上にあたる43人は、自宅から500メートル以下の場所で負傷。(滋賀県内、平成25年中)



【対策】保護者の方へ 子どもと一緒に通学路など身近な道路の確認を!危険について具体的な指導を!

《ワンポイント》

シートベルトは命綱!

自動車乗車中に亡くなられた方は、全体で27人。うち18人はシートベルト非着用でした。そのうち9人はシートベルトを着用していれば助かった可能性があります。
※上記は、自動車乗車中の死者のうち小型特殊自動車の事故を除いた数値 (滋賀県内、平成25年中)

自動車乗車中の死者のベルト着用状況



高齢者の交通事故防止



高齢運転者標識

★高齢者の交通事故防止～Q&A～★

Q 高齢者(65歳以上)の死亡事故の特徴は?

A 状態別では、歩行中が最も多く、うち半数以上は道路横断中

高齢者の事故による死者30人のうち歩行中の死者は12人。うち2/3にあたる8人は、道路横断中。(滋賀県内、平成25年中)



【対策】 道路横断時は、十分に安全確認。無理な横断をしない!夜間の外出は、反射材を着用!



Q 高齢ドライバー(65歳以上)の事故の特徴は?

A 「出合頭」が最も多く、次いで「追突」が多い。

高齢ドライバーの事故で最も多いのは、出合頭(368件)。次いで、追突(300件)。(滋賀県内、平成25年中)



【対策】 見通しの悪い交差点での一時停止と安全確認の徹底!脇見せず、前車との車間距離を広めにとる。

《ワンポイント》横断 ちゃんと待った!

車は、遠くに見えても要注意!

★1秒間にこれだけ進みます。



横断する時は、遠くに見える車にも注意が必要です。



子どもさん用 *点線に沿って切り取って下さい。

**「こうつうあんぜん」
3つのおやくそく**

- とびだしません。
- 「みぎ」、「ひだり」、「みぎ」をきちんとみます。
- チャイルドシート(シートベルト)をつかいます。



**こども
「こうつうあんぜん」カード**

「まもります。」こうつうルール



なまえ



滋賀県イメージキャラクター「キャッフィー」